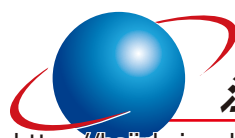


あだち

2026年9月1日発行・通巻第365号



法人ニュース

<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/adachi/>

絵はがきコンクール受賞作品

教育長賞

北三谷小学校

萩原 和真 さん



受賞者本人コメント

このような賞をいただけて、とてもうれしいです。税について調べたことによって、私たちの生活は多くの人に支えられているということを学びました。これからも身近な社会のことについて、色々と学んでいきたいと思います。



よき経営者をめざすものの団体
公益社団法人 足立法人会



離任の御挨拶

前足立税務署長

木村 政文

初秋の候、公益社団法人足立法人会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私こと、この度の人事異動により足立税務署長を退任いたしました。

在任中は、鈴木会長をはじめ、役員並びに会員の皆様から、税務行政への深いご理解と格別のご協力を賜り、足立税務署の各事務を円滑に運営することができました。厚く御礼を申し上げます。

1年間を振り返りますと、貴会の皆様には、各種研修会・講演会の開催、**あだち区民まつり**をはじめとした各行事における「子ども税金クイズ」の実施や「税に関する広報活動」、**税に関する絵はがきコンクール**の開催など、税知識の普及と納税意識の高揚を図るための各種事業に多大なご尽力をいただきました。

とりわけ、「税に関する絵はがきコンクール」につきましては、新しい取組として、税務署長賞受賞者を対象とした**一日税務署長イベント**を貴会、足立納税貯蓄組合連合会及び足立間税会の皆さんと合同で開催できたことで、参加された皆さんにとって一生の思い出になるような、より素晴らしいイベントになったと考えております。受賞した児童・生徒の皆さんが、緊張した様子で作品紹介をする様子や、署長室で模擬決裁を体験する微笑ましい姿が思い出されます。

このような会活動を通じ、貴会の皆様と交流する機会をいただいたことは、私にとって大変有意義で貴重な経験となりました。

今後も「税のオピニオンリーダー」として、このような素晴らしい活動を展開されますことをご期待申し上げますとともに、足立税務署の新体制のメンバーに対しましても、変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、公益社団法人足立法人会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、事業のご繁栄を心より祈念いたしまして、離任の挨拶とさせていただきます。

1年間大変お世話になりました。



着任の御挨拶

足立税務署長

請井 永司

初秋の候、公益社団法人足立法人会の会員の皆様には、平素から税務行政に対しまして深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の人事異動により、足立税務署長を拝命いたしました請井でございます。

鈴木会長をはじめ、役員並びに会員の皆様には、「税のオピニオンリーダー」として、税知識の普及や納税意識の高揚に努められるとともに、税制・税務に関する提言活動や広報活動など、様々な事業にご尽力いただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

当署といたしましては、今後とも貴会の皆様との連携・協調関係をより一層深めてまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、国税庁では、デジタル技術の進展や社会経済環境の変化を踏まえ、納税者の利便性向上と行政事務の効率化の両立を目指した取組を推進しているところ、e-Tax（国税電子申告・納税システム）やキャッシュレス納付など、デジタル技術を活用した申告・納税手段の充実を推進しております。

なお、令和5年度税制改正により創設された「源泉徴収票のみなし提出の特例」は、事業者の提出事務の負担軽減を主な目的とするものであり、本改正により、令和9年1月1日以後に提出すべき令和8年分以後の源泉徴収票について、事業者が市区町村長に給与支払報告書を提出した場合には、その提出をもって税務署長に対して源泉徴収票を提出したものとみなすこととされ、国税当局への別途提出が不要となります。これにより、事業者の事務負担の軽減が図られます。

当局においては、今後も納税者サービスの充実と行政効率化に取り組んでまいりますので、貴会の皆様におかれましても、円滑な周知・広報につきましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、公益社団法人足立法人会のみずますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご事業のご繁栄を心より祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

令和8年度 足立税務署人事異動（8.7.10付）

異 動 前			異 動 後		
所 属	氏 名	異 動 先	所 属	氏 名	前 任 地
署 長	木 村 政 文	ご 勇 退	署 長	請 井 永 司	局・徴収
副 署 長	町 田 隆	局・徴収	副 署 長	大 槻 勝 博	越 谷
指 定 特 官	小 川 幸 一	品 川	指 定 特 官	田 中 嗣 人	四 谷
総 務 課 長	江 島 ル ミ 子	京 橋	総 務 課 長	矢 島 宏 典	局・課一
法人課税第1統括官	山 田 哲 司	局・総務	法人課税第1統括官	村 松 貴 宏	佐 原
法人課税第2統括官	早 瀬 清 人	留 任	法人課税第2統括官	早 瀬 清 人	留 任
法人課税第3統括官	佐 川 正 治	留 任	法人課税第3統括官	佐 川 正 治	留 任
法人課税第4統括官	垣 本 幸 伸	留 任	法人課税第4統括官	垣 本 幸 伸	留 任
法 人 審 理 上 席	藤 井 哲 明	留 任	法 人 審 理 上 席	藤 井 哲 明	留 任
法 人 審 理 官	岡 田 藍	留 任	法 人 審 理 官	岡 田 藍	留 任

足立税務署からのお知らせ

e-Taxのメリット

- 24時間利用可能！
※メンテナンス時間もあります。
- マイナポータル連携で自動入力手間いらず！
- データで保存
ペーパーレスですっきり！
- 添付書類もオンライン提出
郵送不要！
※一部の添付書類は除きます。
- 書面申告よりも早期に還付

申告・納税はe-Taxで手続完了!!

— こんな場面でこんなに便利！ —

確定申告(個人の方)

- 生命保険料控除証明書などの添付書類は、e-Taxで入力・送信すれば**提出・提示が不要**、更にマイナポータル連携を活用すると**管理・保管も不要**に
- マイナポータル連携で給与情報が自動で入力され、申告手続が簡単に
※事業主の方が、従業員の方の給与支払報告書(又は源泉徴収票)のデータをオンラインで提出している等一定の要件があります。

納税証明書の交付請求

- 税務署の窓口に行かずにスマートフォンで納税証明書の交付請求から受取まで可能
- 納税証明書(PDF形式)は**何度も使用でき**、書面で何枚でも印刷可能
- 手数料がお得 1税目1年度1枚あたり:e-Tax 370円 書面 400円

納付手続

- キャッシュレス納付を利用すれば、金融機関や税務署などの窓口に行かずに納付ができ、現金や納付書が不要に

e-Taxを始めるための事前準備など、詳細はe-Taxホームページをご確認ください。

マイナバーカード及び電子証明書の有効期限にご注意ください。
有効期限を過ぎた場合、マイナバーカードを利用したe-Taxによる申告手続等ができまので、お早めに更新手続をお願いします。
有効期限や更新手続等の詳細は、デジタル庁ホームページ「マイナバーカードおよび電子証明書の有効期限・更新」をご確認ください。

e-Taxホームページ

e-Taxに関するアンケートへのご協力をお願いいたします。

e-Taxアンケート

デジタル庁ホームページ

国税庁 法人番号 7000012050002

令和8年6月

国税局の令和8年度定期人事異動に伴い着任された足立税務署新幹部の皆さまを、本部および各部会の執行役員が表敬訪問し、今後の連携や法人会活動について意見交換を行いました。

◇ 本部役員

日時：2026年7月22日（水）11：00～11：30
出席：本部役員（会長・副会長・常任理事）、事務局
人数：12名



◇ 女性部会

日時：2026年8月5日（水）14：00～14：20
出席：女性部会役員（部会長・副部会長）、事務局
人数：6名



◇ 青年部会

日時：2026年8月5日（水）13：00～13：20
出席：青年部会役員（部会長・副部会長）、事務局
人数：7名



◇ 仏教部会

日時：2026年8月4日（火）13：15～13：35
出席：仏教部会（足立区仏教会）役員、事務局
人数：4名

広報委員会

夏期研修会

忍者のリアルを知る — 実践と体験から学ぶ「忍びの知恵」

今回の研修会は、「忍道」陰忍五段師範で、忍術に関する著書も多数出版されている忍道家・習志野青龍窟（ならしのせいりゅうくつ）先生をお招きし、忍者の知られざる知恵や技を、実演や体験を交えてお話いただきました。

中でも印象的だったのが「まきびし」。先生は、まきびしだけで武術専門誌に数ページの記事を書かれたほど研究され、天然のまきびしとして使われた水草「オニビシ」の実も自ら沼へ採取に行かれたそうです。さらに夜襲では、あらかじめ「まきびしを撒く係」がいたというお話も。映画や漫画とは違う、実践的な忍びの姿が見えてきました。

忍者刀や苦無（くない）、印籠、火を持ち運ぶための道具なども実物を見せていただきながら、本来の用途を一つひとつ丁寧に解説。苦無が潜入時の足掛かりや手掛かりにも使われたことなど、「そうだったのか」と思わず誰かに話したくなるお話の連続でした。

何より驚かされたのは、先生が文献を研究



◀ 忍者道具



◀ 研修会の様子



習志野青龍窟先生

するだけでなく、自ら身体を使って伝承を検証されていることです。断食を含む厳しい修行も実際にご経験され、古くから伝わる歩行術の研究では、埼玉から日光まで100km以上を一昼夜で歩かれたとのこと。その実体験から語られるお話には大変な説得力がありました。

最後には、忍びに伝わる様々な呼吸法も全員で体験。胸と腹、鼻と口を使い分けたり、呼吸のリズムに意識を集中させたりと、歩行や走る際の身体の使い方から、緊張を整えること、瞑想、就寝前のリラックスまで、現代にも活かせる「忍びの知恵」を教えてくださいました。

実物を見て、身体を動かし、驚きながら学ぶ、あっという間の大変濃密な研修会となりました。

（参加25名 広報委員 米本 芳佳）

健康を応援する

第137回

暑さについての独り言

葛飾健診センター長 吉原 一郎 先生

「心頭滅却すれば火もまた涼し」とは恵林寺の快川紹喜の言葉である。信長の嫡男、信忠は甲州征伐の際、武田残党をかくまった恵林寺を包囲し焼き討ちした。

私のような凡人に快川紹喜の境地を期待できるわけもなく、ただただこの暑い夏が過ぎるのをアスファルトに点在する日陰に身を潜めて待っている。

思えば子供のころは玉のような汗を吹き出すようにかいていた。今はといえばジトっとベタっとしか汗は出ない。年を取るにつれ汗腺が衰えたのであろう。

暑さ対策三つ

人間のあらゆる器官は鍛えることができるので汗腺を鍛えればよい。それには運動習慣と入浴習慣を身につけて定期的に汗をかくことが一番。

1. 今風にいえば暑熱順化を心がける。
2. 十分な時間と質の良い睡眠、少なくとも6時間はぐっすり寝たい。
3. 朝ごはん、汗を多くかくであろう日は塩鮭、漬物など塩分を意識して摂取すれば、その後お昼までは水分摂取に努めればよい。

ちなみに恵林寺焼き討ちからわずか2ヶ月後、信忠は京の二条御所で炎の中、自害した。やはり神仏は粗末にしないほうがよい。

都税事務所からのお知らせ

— 都税についてのお知らせ —

来所せずにお手続きができます！

東京都主税局では、都税事務所等に来所することなく、郵送やインターネット等で手続きできる仕組みを設けております。ぜひご利用ください。

申告

- ✓ 電子申告
 - ・ eLTAX
 - ・ LoGo フォーム
- ✓ 郵送（所管事務所 宛）

申請・届出

（一部の手续を除く。）

- ✓ 電子申請・届出
 - ・ eLTAX
 - ・ LoGo フォーム
- ✓ 郵送（所管事務所 宛）

納付

- ✓ スマートフォン決済アプリ
- ✓ ペイジー
 - （インターネットバンキング・モバイルバンキング・ATM）
- ✓ クレジットカード納付
- ✓ eLTAX 電子納税
- ✓ 口座振替

証明書等の取得

- ✓ 郵送（キャッシュレス決済）
- ✓ 郵送（定額小為替）
- ✓ 電子申請

詳細は東京都主税局ホームページをご覧ください。



※各種サービスのご利用条件・方法等の詳細は、東京都主税局ホームページをご覧ください。

主税局 HP



支部会員紹介

株式会社 あし川葬祭

代表取締役社長 芦川 雅良 (あしかわ まさよし)
代表取締役専務 芦川 隆行 (あしかわ たかゆき)

企業の成り立ちと思い

創業は、祖父が六月2丁目で芦川葬具店から始めました。そして父が1977年に六月1丁目で本社を構え法人化、株式会社芦川花環葬儀社として地域に根差した事業を展開し、2020年に兄弟で代表取締役に就任、社名を株式会社あし川葬祭へ変更し現在に至ります。

創業当時は車を購入することも難しく、花環や祭壇をリヤカーで運搬していた時代がありました。

自身も幼少期には家業への偏見から心ない言葉を受ける経験がありましたが、父の仕事に誇りを持ち、「地域に必要とされる仕事」であると、現在も「葬儀はあし川に任せれば安心」と言っただけの存在であり続けることを何より大切にしております。



あしかわ会館

主な事業内容

同社では、葬儀式典の施行をはじめ、生花販売、寝台車業務、東京都民葬儀・福祉葬儀の取扱い、仏壇・位牌の販売など、葬送に関わる幅広いサービスを提供しています。

宗旨・宗派に沿った一般葬はもちろん、近年増えている無宗教葬、一日葬やコンパクトなお別れ会など、ご遺族一人ひとりの想いに寄り添った葬送の形を提案しています。



HPより生花祭壇葬儀

企業PR・強み・アピールポイント

当社の最大の強みは、地域密着で培ってきた信頼と、「親切・丁寧」を徹底した対応です。

ご相談の際には必ず事前見積もりをおすすめし、費用は1円単位まで分かりやすく説明しています。また、誠実で透明性の高い対応を大切にしており、その姿勢がお客様から高く評価され「一番丁寧に説明してくれたのでお願いしました」とご指名をいただくことも少なくありません。

さらに、夜間の電話対応を代表兄弟で365日交代に担当し、突然の出来事に直面したご家族が安心して相談できる体制を整えています。

第12支部

(六月1〜3丁目、竹の塚1〜7丁目、西保木間1〜4丁目)



芦川専務

本社前

人と地域への想い・将来への展望

代表として大切にしているのは「自ら先頭に立ち、社員を大切にすること」、そしてお客様一人ひとりの想いに寄り添い、必要とされるサービスを迅速に提供することです。競争が激しくなる葬祭業界においても、創業以来変わらない「親切・丁寧」の理念を守り、地域のお客様に安心して任せいただける葬儀社を目指しています。また、地域活動にも積極的に参加し、講演活動などを通じて葬儀に関する正しい知識を地域へ発信し、今後も地域に貢献する活動を続けていきます。

法人会への想い

法人会の青年部会に29歳で入会し、現在は公益事業委員会副委員長、第12支部副支部長としてあだち区民まつりや「税を考える週間」特別講演会運営など、地域に貢献する事業にも力を注いでいます。法人会には、業種を超えて学び合い、支え合える仲間がいます。青年部会で築いた仲間とのつながりは、卒業後もかけがえのない財産となっています。公益事業や第12支部の活動など、地域のための事業を数多く行っていますので、ぜひ多くの皆様に参加していただき、一緒に足立区を盛り上げていければと思います。

久保木支部長コメント

株式会社あし川葬祭の芦川さんは、地域に根ざした信頼ある企業経営を続けておられます。地域活動にも積極的に取り組まれ、多くの仲間から慕われる、人望あふれる方です。

○ 会社情報 ○

株式会社 あし川葬祭

住 所: 東京都足立区六月1-11-7

連絡先: 03-3883-0444 (代表)

ashikawa@guitar.ocn.ne.jp

営業時間: 365日24時間受付 (お電話)

アクセス: 竹ノ塚駅から徒歩18分

HPはこちら



紺蔵グループ 株式会社 紺蔵営繕

代表取締役会長 石鍋 介章 (いしなべ よしあき)
代表取締役社長 酒井 隆 (さかい たかし)

企業の成り立ちと思い

紺蔵グループは、1973年新宿四谷に設立し建物の企画設計を原点に、地域とともに発展してきた総合建物サービス企業です。1975年コンクラ企画設計 (現: 紺蔵設計) を新宿四谷から足立区へ移転し、1990〜1994年には測量・営繕・管財・開発の各事業会社を設立して、建物に関わる幅広いサービスを一貫して提供できる体制を整えました。2022年「紺蔵グループ」へ統一し、2023年創立50周年を迎えています。

先代創業者の父の頃には、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショック、コロナ禍など、幾度もの不況に直面しましたが、幸いにもほとんど影響を受けず事業を継続できました。



仕事前集合

現場作業中

主な事業内容

紺蔵グループは、建物の価値と快適性を高めるため、リノベーション (修繕・改修・リフォーム)、メンテナンス (定期点検・保守)、クリーニング (住宅・オフィスの清掃) の3領域を中心に、建物の総合ケアを提供しています。

企業PR・強み・アピールポイント

対象となる顧客は会社事業主や個人といったエンドユーザーで、直接ニーズに応えるサービス体制が特徴です。また、グループ各社が連携して業務を進めることで、社員一人ひとりが建物に関する総合的な知識を身につけ、より質の高いサービスを提供できる点も強みです。竣工後も継続して建物をケアできる体制を整えていることは、他社にはない大きな価値となっています。

久保木支部長コメント

石鍋さんの会社は、建物のリノベーションや改修工事、メンテナンス、清掃まで幅広く手がける地域密着の企業です。先代から続く信頼と実績を受け継ぎ、建物のことなら何でも安心して相談できる頼れる存在です。

石鍋会長



本社ビル前

人と地域への想い・将来への展望など

東京商工会議所や東京青年会議所に参画し、各団体の事業や地域活動に積極的に関わることで、地域への貢献を続けています。

今後は、事業継続のための顧客開拓や技術向上に加え、中小企業が抱える人手不足の課題に向き合いながら、少数精鋭の社員育成と職場環境の改善に力を入れていきます。特に女性の雇用拡大を進め、多様な人材が活躍できる企業づくりを目指しています。



作業に集中

仕事への想いと健康

仕事においては、「強い者、賢い者が生き残るのではない。変化できる者が生き残るのだ」という信念を持ち、急速に変化する社会の中でお客様の声に耳を傾け、求められるサービスを柔軟に形にしていける姿勢こそが、企業を継続させる力になると考えています。

また、心がけていることは、ご縁を大切にし、信頼を積み重ねることを何より重視しています。

プライベートでは、健康づくりを兼ねて登山・トレイルランニング・マラソンに取り組んでおり、現在は日本百名山に挑戦中 (47座) で、富士山や北・南アルプス、八ヶ岳などの山々を歩き、時には15kgのバックパックを背負うこともあります。

また、筑波山・奥多摩・飯能などではトレイルランニングにも挑戦。さらに、フルマラソンは横浜3回・東京3回などの大会にも出場しています。

○ 会社情報 ○

紺蔵グループ 株式会社 紺蔵営繕

住 所: 東京都足立区六月2-12-2

第3コンクラビル

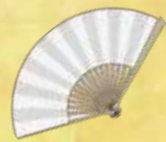
連絡先: 03-3850-7571 (代表)

営業時間: 8:30〜17:30

アクセス: 西新井駅から徒歩15分

HPはこちら





練て語れば



～弟子入りのすったもんだ～

今回は、講談師・神田ようかんさんの「弟子入り」をめぐる、なんとも可笑しく愛おしいお話です。師匠・神田春陽さんの一言に心を射抜かれ、意を決して弟子入りへ。しかし、幻の羊羹は手に入らず、連絡先はまさかの書き間違い……それでもつながった師弟のご縁。講談の世界ならではの師弟関係と、その裏側をちょっぴり覗いてみましょう！

【師匠・神田春陽との出会い】

神田春陽の弟子の神田ようかんと申します。本日もお付き合いの程を願います。

「この人に弟子入りしたい。」そう確信したのは、とある講談の会。15人も入るかというくらいの趣のある小屋。コロナ禍も少し落ち着き始めた2021年のこと、師匠、神田春陽のマクラ（ネタに入る前の導入の話）を聞いていると、どうやら師匠春陽も世の流行りはおさえていたようで「解熱剤を処方されて飲んでいるがなかなか熱が下がらない。38度をなかなか下回らないので大変に苦勞をした。その時に私は『38度線』で戦っていました。」

これを聞いた瞬間、「この人しかいない」と、蒙が啓かれました。今、文字に起こすと伝わりにくいですが、こぢんまりした小屋で、グレーなユーモアを聞くときの背徳感というものはい言ひ得ぬ心地よさがあります。

とにかく、神田春陽という師匠は講談師の中でも飛び抜けて冴え渡るマクラを振ります。日常の何気ない話に笑っていると俄かに張り扇を一つ叩いて本題に入っていく。すると、先ほど話していた話が講談の読み物の中へ橋を架けてくれる。これがひとつの、「古典に生命力を吹き込む」ワザなのだと感銘を受けたわけでございます。

【幻の羊羹が「ようかん」に…！】

さあ、これから弟子入り志願するからには、何か気の利いた手土産を持って行こうと考え、思い付いたのが小ざさの羊羹。一日に150本しか販売されないという知る人ぞ知る幻の羊羹があります。こういうものは買い置きするもので

もなかろうと、当日に朝早くから並び、ざっと見て50人くらいだったので、「これは買えそうだ」と一安心。列が進むにつれ、店員さんの声が聞こえてくる。

「おいくつお求めですか。」「二棹お願いします。」「三本。」そんな声が聞こえてくる。「おひとり様一本じゃないのか！」そわそわしているとちょうど私の前の人に店員さんが、「売り切れです」と、私には一瞥もくれずに去って行きました。

結局、「幻の羊羹」は幻のまま、ごく普通に売られている最中を買って向かうことにしました。「現実の」最中です。それでも紙袋には「小ざさ」と書かれている。弟子入りをお願いし、「お口に合うかどうか」と差し出すと、師匠は紙袋をただで「ああ、小ざさの羊羹ね。口に合います」とおっしゃった。中身は最中である。曖昧な返事をしながらお渡ししたが、訂正する勇気はなかった。

その日は11月の中頃、冷たい雨が降る寒い日でした。師匠から「連絡先を書いて」と言われ、震える手で壁に紙を押し付けながら電話番号とメールアドレスを書いた。「じゃあ、また連絡するから。」そう言われて別れたあと、高鳴る鼓動を落ち着けてい

ると、ハッと連絡先を書いていた手元の光景が脳裏に浮かんできた。なんと自分の電話番号を書き間違えていた。慌てて追い掛けてその旨を



お伝えすると、「また会うだろうし別にいいよ」と。確かに、とその場は引き下がりましたが、なんとかうまくいきそうだと笑顔がこぼれそうになると、またハッと気づく。メールアドレスも間違えていた。これでは冷やかしと思われるでも仕方がない。なんとかご温情でかろうじてご縁はつながって今日に至ります。後になって、師匠から「お前の名前は『よう

かん』でいくから」と言われて、思わず「本当ですか」と聞き返したのは名前をつけていただいた喜びではなく、冗談だと思ったから。返ってきたのは真顔で「これでいくから」の一言でした。

幻の羊羹はお渡しできず、かえって師匠から「ようかん」をいただいてしまった情けないお話でした。

コラム |

声に出す講談 ～台本は「設計図」～

講談師に入門すると、まず稽古する読み物の一つが『三方ヶ原軍記』です。武田信玄と徳川家康が戦った三方ヶ原の合戦を描いた講談ですが、まずはその冒頭をご覧ください。

頃^{げんき}は元龜三年壬申年十月十四日甲陽の太守武田大僧正信玄は七重のならしを整えその勢三万五千余人〔一〕、甲府を雷発^{みずのえさる}して遠州周智郡犬居^{すぢごおり}の城主^{あんないじゃ} 天野宮内左衛門景貴・芦田下野守の兩人を案内者として〔二〕、山形三郎兵衛ノ尉昌景に五千余騎をさし添えて同国飯田・多々羅の両城へ攻めかかるその勢い破竹の如く〔△〕

〔 〕で示してあるのが張り扇を叩く箇所として私の台本に書き込んであります。〔一〕で一回、〔二〕でパンパンと二回、〔△〕でパーンパンパンと三回といった具合です。息継ぎをするところで張り扇を叩くと教えてもらいます。

しかし、実はこの台本にはもともと句読点も張り扇の箇所も書いてありません。改行もなくみっちりと書かれています。（台本に使う紙が一枚150円近くするので、改行なんてしたら紙が勿体無い！）

まず、基本となる「修羅場調子」という読み方はしっかりと教わります。しかし、呼吸の場所、張り扇の叩き方というのは、繰り返し稽古をしてゆく中で自然と変わってきます。

講談師にとってこの軍談の台本は、完成品ではなく「設計図」のようなものです。先人が残した設計図を受け継ぎ、自分の身体という条件の中で何度も声に出し、自分の型を見つけて、オリジナルの立体的な形として立ち上げていくのです。

とにかく大きな声で元気よく声に出してみましょう



あんないじゃ さぶろびょうえのじょう

居^{まさかげ}の城主^{あんないじゃ} 天野宮内左衛門景貴・芦田下野守の兩人を案内者として〔二〕、山形三郎兵衛ノ尉昌景に五千余騎をさし添えて同国飯田・多々羅の両城へ攻めかかるその勢い破竹の如く

三方ヶ原軍記の
動画はこちら↓



神田ようかん プロフィール

講談師 神田春陽門下、2022年6月入門。講談協会に所属して、現在は前座として日々研鑽中。昔取った杵柄を思い切り振り回して、『千住七不思議』や『本所七不思議』を取り上げて、英語を用いた講談などにも手探りで挑戦しています。本連載では下っ端の自分が、講談についてみなさまに知ってほしいこと、日頃考えていることなどを生意気ながらもご紹介できれば幸いです。どうぞごゆるりとお付き合いください。

●第12支部 役員会
異業種交流会
開催日：7月7日(火)
場 所：木曽路 竹ノ塚店
参 加：33名



●第10・11支部 合同役員会
開催日：7月9日(木)
場 所：蕎麦遊膳 松鈴
参 加：14名



●第4・5支部 役員会
合同名刺交換会
開催日：7月22日(水)
場 所：足立成和弘道支店/ティカデビ
参 加：14名/21名



●第2支部 役員会
開催日：7月28日(火)
場 所：足立成和信用金庫
旭町支店
参 加：11名



●第8支部 役員会
開催日：7月28日(火)
場 所：足立成和信用金庫
亀有駅前支店
参 加：11名



●第1支部 役員会
開催日：7月30日(木)
場 所：足立法人会館 3階
参 加：8名



●第13支部 役員会
開催日：7月30日(木)
場 所：(株)聡建
参 加：14名



ブロック活動報告

●第1ブロック

(第1・2・3支部) ブロック会議
開催日：8月7日(金)
場 所：足立法人会館
参 加：8名

●第2ブロック

(第4・5・6支部) ブロック会議
開催日：7月30日(木)
場 所：足立法人会館
参 加：9名

●第3ブロック

(第7・9支部) ブロック会議
開催日：7月27日(月)
場 所：足立法人会館
参 加：7名

●第4ブロック

(第8・13支部) ブロック会議
開催日：7月29日(水)
場 所：足立法人会館
参 加：5名

●第5ブロック

(第10・11・12支部) ブロック会議
開催日：8月26日(水)
場 所：足立法人会館
参 加：8名

説明会・研修会等ご案内

＜月例研修会＞◎法人税を学ぶセミナー

開催日	時 間	会 場	テーマ	サブテーマ
2026年9月14日	月 10:00～12:00	足立法人会館 3階会議室	社長の税金	役員給与・会社と役員の金銭 貸借、生命保険について
2026年9月15日	火 13:30～15:30			
2026年10月15日	木 10:00～12:00		固定資産税 について	減価償却について
2026年10月16日	金 13:30～15:30			
2026年11月17日	火 10:00～12:00		決算対策と 税務	決算対策と決算・ 税務調査の対応
2026年11月18日	水 13:30～15:30			

※ 参加費は無料となりますが、参加初回のみテキスト代として会員2,000円、一般参加者5,000円をご負担いただきます。
※ 4月より実施しておりますが、基本的にオムニバス形式の研修テーマとなっておりますので、
年度の途中からご参加いただく形でも問題ございません。

＜決算法人説明会＞◎決算を前にした会社のために

開催日	時 間	会 場	対 象
2026年9月17日	13:30～15:40	足立税務署4階会議室	9月決算
2026年10月8日			10月決算
2026年11月19日			11月決算

＜新設法人説明会＞◎新しく会社を設立した方は

開催日	時 間	会 場	対 象
2026年10月7日	13:30～16:00	足立税務署4階会議室	新設法人

※足立法人会館 3階会議室 住所：足立区千住中居町25-7 TEL.3881-0326
※足立税務署 4階会議室 住所：足立区千住旭町4-21 TEL.3870-8911 (内線212)

＜事務局からのお知らせ＞

＜振込をご利用の会員様＞ 会費の納入は口座引落が断然お得！

口座引落は手数料負担0円で法人会の会費をお支払いいただく事ができます。
また、銀行やATMで振り込みのお手続きをしていただく必要もございません。
経費削減のため振込から引落に変更していただくことをお勧めいたします。



口座引落への切り替えご希望の方は「会費請求についてのご案内」へ記入または、
下記QRコードより申請お願いいたします。お手続き書類を郵送いたします。

弊会HP右上「お問い合わせ」⇒「会費口座引落申請」⇒「申請WEBフォーム」
※手続にお時間がかかる場合がございます。お早めのご連絡をお待ちしております。

＜口座引落をご利用の会員様＞

今年度も年2回、ご指定の金融機関より
口座引落しをさせていただきます。

WEBからの
申請はこちら→



法人会の会費は「消費税不課税取引」ですので、消費税の仕入控除
の対象になりません。「諸会費」等の費用として経費計上できます。

【問い合わせ先】

公益社団法人足立法人会事務局
電話 3881-0326 FAX 3879-3540
e-mail koueki@adachi-houjinkai.or.jp

『総評』

昔は、「天災は忘れたころにやってくる」という言葉を聞かされて育ちました。これは、後に明治大正の科学者・随筆家の寺田虎彦がいはじめたと記憶しています。また、怖いものたとえに「地震・雷・火事・おやじ」というのも言い尽くされて来た言葉でした。それほど、日本人は長い歴史の中で天災や恐怖に脅かされながら生きて来たのです。怖いものが骨身に焼き付いているのです。関東大震災、天明の大飢饉、富士山の大爆発等々。日本の歴史そのものが「災害史」といつてもよいくらいです。地震国日本には、防災は宿命的といえるかもしれません。国民揃って防災に立ち向かわねばならない理由がここにあるのです。

天災のない島国の夢を見た（杜子春）

9月のテーマ「防災」に多数のお申し込み込み有り難うございました。広報委員会・選者で厳選した結果、以下の5作品に決まりました。次回も奮ってご参加下さい。

かぶるだけ ケガもリスクも 減るメット （そなえ花）

「ヘルメット」の駄洒落が効いているのがご愛敬です。安全対策を洒落のめして、護身用を啓蒙しているのがいいですね！

備えよう 非常袋と 避難先 （ムハ）

これは立派な防災標語でもあります。もちろん防災に過ぎるということはありません。この精神を胸に、身を守る事に徹してください。

日本危機 地震台風 火事にクマ （薫る風）

対象が、クマと山火事にも向けられた今年。この二つは、人力で何とか減らせないものでしょうか？繰り返しを減らす方策はないものか？

防災は 心構えと 備蓄品 （千住在住）

災害は突然やってくるだけに、普段の心がけと備えが大切ということでしょう。当たり前すぎる感じもありますが、それが防災の最も肝心なところでしょう。

防災に やり過ぎはなし 憂いなし （天城越え）

結局、防災とは普段から行っていれば、なんの心配はないということですね。それだけにかえって難しいのです。この反面は、油断大敵！

11月号のテーマ
「チャップリン」
（チャットGPT）

「川柳」は、五・七・五のリズムで詠む口語の定型詩です。口語以外の言葉を用いることもあります。俳句と違い、季語を用いる必要はありません。テーマの言葉を入れる必要はありません。

お一人様、二句まで、ハガキ
又は、FAXで投句

※句掲載の方には、
クオカード（一、〇〇〇円分）
を差し上げます。

締切

二〇二六年九月三十日（水）まで
投句先

〒二二〇一〇三五

足立区千住中居町二十五ー七
FAX 三八七九ー三五四〇
（公社）足立法人会 川柳係へ
お寄せください。

〈選者・コメンテーター紹介〉

秋庭 隆（あきは・たかし）

戦後18年間、足立区に居住。
現在、「東海道ネットワーク
の会21」顧問（藤沢市在住）。

あ と が き

熊本県ならびに九州地方の皆さま、心よりお見舞い申し上げます。9月は防災月間。当たり前の日常が突然機能なくなる恐怖、そして支え合うことの大切さを、私達は忘れないように学びましょう。

今月号の川柳のテーマ「防災」に寄せられた句からも、備えへの意識が伝わってきます。今一度足元と備えを見直すきっかけとなれば幸いです。（島崎広報委員）

公益社団法人
足立法人会報
第303号（通巻365）
2026年9月1日発行
発行所
公益社団法人 足立法人会
足立区千住中居町25ー7
電 話 （3881）0326
メールアドレス
koueki@adachi-houjinkai.or.jp
編集人
広 報 委 員 会